



## 日本初！JABEE 認定審査を情報工学部の全学科が同時受審

延山 英沢<sup>1</sup>

情報工学部の全 5 学科がそろって今年度の JABEE(日本技術者教育認定機構) の認定審査を受けました。学部全体が同時に受審することは日本で初めてのことで、JABEE 自身が注目しているとのことですので。2002 年に JABEE 対応委員会が発足してから足掛け 4 年。ようやく 11 月 29 日に全学科の実施審査が終了し、来年 4 月頃にある審査結果の発表を待つのみとなりました。

ここまでに至るのは簡単な道のりではなく、学習・教育目標の設定から始まって、シラバスの改定、エビデンス(試験の答案等)の保存、FD 活動、…と来て、仕上げは学習成果自己評価シートの作成、と教育に対する意識改革を進めながら膨大な作業を行ってきました。これら教職員の方々の努力がようやく結実し、大きな成果を挙げようとしているのです。(私自身は 3 年余りで大きく膨れ上がった胸の痞えがぽっこり取れたという感じが。)

JABEE の認定審査は書類審査と実施審査があります。7 月末に提出した書類では確認できなかったことを実際に大学に来て調べるのが実施審査です。実施審査において、押し並べて各学科とも審査団から高い評価をいただきました。学部全体として教育改革に取り組んでいる、PBL 型教育によるデザイン能力教育が充実している、専門学科と共通講座のコミュニケーションがうまくいっている、教務情報システムは素晴らしい(うちでも使いたい)、等々。当学科の審査長からは、情報科学センターは、設備については言うまでもないが、組織としての運用体制をうまく作っているのととても関心した、というコメントもありました。もちろん、改善すべきとして指摘された点も種々ありましたが、実施審査を受けたことにより、我々は我々の教育体制を誇ってよいのだ、ということに改めて認識することができました。これこそ外部評価だと思います。

JABEE を受審することに対しては現在においても賛否両論ありますが、教育に関する情報公開が進んだこと、FD 活動が活発化したことなど、教職員の教育に対する意識は確実に高まりました。これは JABEE を受審したことの大きな成果と言えます。JABEE 審査が終わったと思いきや、その高まった意識を持続して、大学院の教育改革と体系化に突き進め、という号令がすでに聞こえてきています。教育改革はなかなか休む暇がありません。

何はともあれ、正式な審査結果の発表は来年の 4 月頃の予定です。なるか「日本初！情報工学部全学科同時 JABEE 認定」。乞うご期待。

ちなみに、JABEE の日本技術者教育認定制度とは、大学や高専など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定制度です(JABEE のホームページ <http://www.jabee.org/> より一部抜粋)。

<sup>1</sup>情報工学研究科 副研究科長、情報工学部 システム創成情報工学科 教授  
2005 年 11 月寄稿